

事業テーマ

炭酸システム導入による革新的理容サービスの事業化

事業者名

ハッピーバーバーマツノ

Company Profile
企業概要



▲大正生まれの建物をリニューアル。新しい時代へと引き継がれた店舗

昭和23年創業。横浜市鶴見区生麦で60年以上続く理容店。現在の店主は3代目の松野良明氏。老朽化した建物の建て替えをきっかけに、店舗の一大リニューアルを決心。ものづくり補助金は炭酸シャワーなど新店舗の設備投資に活用した。店舗リニューアル後、旧店名「ヘアーサロンマツノ」から現在の「ハッピーバーバーマツノ」に改め新装開店。付加価値の高いメニューの提供や、知人のみかん農家と連携して店舗でみかんを販売する「床屋 de みかん」プロジェクトなど、既存の床屋の枠に捕らわれない取り組みを実践し、地域を元気にする取り組みをモットーに経営を行っている。

代表者名 松野 良明
設立年月日 1948年2月28日
所在地 〒230-0052 神奈川県横浜市鶴見区 生麦1-12-16
従業員数 3名
資本金 -
Tel. 0120-010586
Fax. -
http://happybarber.jp/

Examiner's Eye
調査員考察

老朽化店舗の建て替えを機に、店舗をリニューアルしコンセプトを明確化。補助金は資金面での活用だけではなく、長期事業計画を考えるきっかけとしても活用した。結果、集客や単価の向上を達成。地域を活性化する取り組みにも積極的であり、将来は地域を担う店舗となることが期待される。



▲明るく笑顔の接客で元気をくれる松野さん親子

地域に喜んでもらえるお店を目指して

ちょっと変わったところだと「床屋 de みかん」というプロジェクトを作って、一昨年からみかんを販売しています。友人が愛媛でみかん農家を始めたのですが、その農園で採れたみかんを食わせてもらったらすごく美味しかったです。これは売れるよ！ということとで当店でみかんを売り出したら一気に人気になり、去年は1トンを売れ、話題にももらえるようにもなりました。店舗の内装は「田舎のおばあちゃんの家」のような温かいイメージにしているので、庶民的なみかんという商品もびったりでしたね。

理容店の殻をどんどん破っていききたい



▲デザインは全て自分達で考えたという、落ち着いた雰囲気の内装

ものづくり補助金を利用したきっかけ

私は生まれも育ちも横浜市鶴見区の生麦で、いつも楽しそうに理容店の仕事をする父の姿を見ているうちに、自分も同じ道に進んでいました。専門学校を卒業したあと東京小平市の理容店で5年間修業をしてから家業に入りましたが、大きな問題だったのが店舗建物の老朽化です。大正時代築の建物は建て替えが必要な状況でした。ものづくり補助金はちょうどそのとき知り、店舗リニューアルをする際の設備投資に活用できると思いチャレンジすることにしました。事業計画書は認定支援機関の中小企業診断士さんに書類をチェックしてもらいながら作ったおかげで採択されたのですが、作っているときは何度も支援機関に通って…大変でした(笑)。でも、しっかりとした事業計画を作ったことはものすごくプラスになっています。

設備投資と店舗リニューアルの効果

事業計画づくりでは中小企業診断士の方に

お世話になり、すごく勉強になったので、私も中小企業診断士試験の勉強を始めました。これまで理容店として技術の勉強はしてきましたが、経営のことは疎いままだったので、ずっと勉強をしたいと思います。今は親子でお店をやっていますけど、10年後、15年後はどうなるかはわからないし、理容店はハサミを動かす続けると稼げないので、年齢とともに体力的に厳しくなってくると思います。それでは利益にも限界があるので、自分の働く時間以外にも稼げる体制を作れるように、カフェスペースの運営やインターネットでのみかん販売も計画しています。とにかく理容店の殻を破って色々なことをやっていきたいですね。こうした事を考えられるようになったのも、今回の補助金で事業計画を一生懸命作ったことがきっかけです。熱心に支援してくださる支援機関の方々とも出会うことができたので、うちの様な普通の理容店でも補助金を活用することができました。一度計画を作ってみるといろいろなことに役立ちますので、他のサービス業の方々

「元気の充電所」目指す

地元生麦で3代にわたり営業する理容店が、補助金活用により店舗をリニューアル。「元気パワー充電所」という新たなコンセプトを打ち出し、自由な発想で既存の枠にはまらない理容店を目指す。

一番大事にしているのは、来ていただいたお客様にリラックス・リフレッシュしてもらって「明日からまた頑張ろう！」と思ってもらえるお店にすることです。補助金で炭酸システム設備を導入しましたが、設備そのものは珍しいものではありません。他店ではシャンプーの時にただ炭酸シャワーで流すだけという所が多いですが、当店で炭酸を使ったジェルを使用するなど差別化をしました。炭酸システムを使ったものの以外にもいろいろなメニューを考えており、現在は10種ぐらいのメニューを提供しています。付加価値を付けることで、単価も5000円以上になっております。従来の理容店としては高い方だと思いますが、ご予約のお客様も多く、リニューアル以来多くのお客様に満足していただいております。理容と癒しを提供することで、格安カットのお店との違いを出して、ただ髪を切るだけじゃない場所を作っていましたね。

店舗のリニューアルでカフェスペースも作りましたので、今後はこれを本格的に稼働させて、住民の方が気軽に訪れてお喋りを楽しんでもらいたい場所を作りたいと思います。



▲新メニューの炭酸ジェル顔そりはざっぱりした仕上がりが男性に人気



▲代表の松野 良明氏